

# アスモ新聞

2007年1月1日(月)

「人に喜ばれる仕事を!!」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

発行所  
在宅介護センター・アスモ

創刊第17号

〒165-0026  
中野区新井1-26-4 オスカーマンション2F

☎ 03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

## 『老いる』ということ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。本年もより一層のご愛顧のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は公的介護保険制度の見直しがあり、介護業界にとつて激動の年でありました。今回の制度改正(改革?)

の功罪についてはいろいろ議論がされておりますが、ともかくも会社の組織や事業スタイルを新しい制度に合わせないと、この先、生きていくのが苦しくなることは確かかなようです。このような環境の中で弊社の今後を考えているときに、私の尊敬申し上げている、当社とお付き合いのあるライフネット株式会社の高垣社長よりお聞きした陽明学者の安岡正篤の挿話を思い浮かべました。今後の企業経営、さらには人生哲学にも通ずるものがあるのではないかと思います。ここで簡単にご紹介させていただきます。

「老いる」という言葉は、心身の機能が衰え枯れ果てていく「朽ちる」という言葉とは似て非なるものである。目出度い席に登場するお馴染みの「エビ(海老)」は、その「老いる」という言葉の象徴である。エビは成長するたびに小さくなった殻を脱ぎ捨て新しい殻をまた大きくくなっていくが、成長が止まった後も脱皮を続ける。いつも動き易い状態を保つために、硬くなった殻を脱ぎ捨て常に柔らかくベストの状態になるよう変身するのである。つまり厳しい環境の中で生き続けるために、自己の殻を破り環境適応する様子を「老いる」というのである。そういうことかというと「老人」も人生の修羅場を潜り抜けてきた達人であり、単なる年を重ねてきた「年寄り」とは違うのである。……(安岡正篤)

介護保険制度は、今後益々厳しくなることが予想されますが、人生の先輩であるご利用者様に教えを請いながら、エビの如くスマートに脱皮をし、進化して行ければと思っております。本年も在宅介護センター・アスモを宜しくお願い申し上げます。

## ぼけない人 十ヶ条

- 一 常に感謝し、ゆとりのある人
- 二 本や新聞をよく読み、日記をつける人
- 三 手足をよく使う人
- 四 人の世話をよくする人
- 五 ハイカラな人
- 六 酒を少ししたしなみ、歌を歌うなど陽気な人
- 七 友人が多く付き合いの良い人
- 八 趣味が多く理想を持つ人
- 九 奉仕精神の旺盛な人
- 十 異性に関心を持ち続ける人

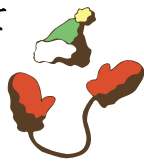
田中絹子様

ありがとうございました

## 詩のご紹介

### 手袋

子供の手袋は小さくて  
紐がついています  
おとなのは大きくて  
皮でできています



手袋は北風や雪の日に使います

毛糸の手袋は

ほかほかあたたまります

赤や黄色は春らしい

気持ちになります

私もピンクの毛糸の

手袋を持っています

武藤 真由美 様

素敵な詩をありがとうございました



# 私のドラマ

アスモでは毎日毎日たくさんのご利用者さんとそのご家族の方々と関わらせていただいております。その中でのごきごとを「私のドラマ」と題して赤裸々に綴らせていただきました。特に「お叱りの言葉」や「困難事例」を中心にアスモのスタッフ・ヘルパーが「考えたこと」そして「具体的に取組んだこと」がまとめてあります。



## 『みんなの願い』



ある朝Hさん宅を訪問するとMさんは、トイレの前の床にベターっと座り込んで、動けない状態でした。いつからこの状態でいらしたのかをご本人に尋ねても解らず、まだ少々暑い頃でもあり、とにかく水分補給をして頂き、やっとの思いでトイレの便座に座って頂きました。薬の効力がなくなると動きが悪くなる為、すぐにでも薬を飲んで頂きたかったのですが、食後の服薬の為には、まず朝食をとっていただかなければなりません。Mさんには申し訳なかったのですが（すぐにでもシャワーを浴びていただかなければならない状態だったため）、便座に座ったまま朝食をとって頂きました。お腹も空いていたんでしょ「おいしいね」「おいしいよ」と、その頃よりMさんも少しずつ落ち着かれ、「～ティファニーで朝食を～とは聞いた事あるが、トイレで朝食なんて聞いたことがないわね」と会話も出来るようになりました。服薬して頂き経過を見ながらシャワーを浴びて頂きました。Mさんは動けない状態の時、どんなに心細く、どんなに切なかった事かと思うと、私も切ない気持ちと同時にヘルパーとしての限界を痛感しました。本当に必要としている方に必要な手厚いサービスが出来る時が来る事を願いつつ…。国の制度とヘルパーとしての立場の狭間で日々悩んでいる方は、多いと思います。お力になりたい、させて頂きたいの気持ちでいっぱいです。その気持ちは、アスモのヘルパーだけでなく、この仕事に携わっている全ての人にとっても同じ思いだと言えます。（鶴山）

### 酒粕の知られざるパワー！

### 今月のコラム

酒粕は清酒もろみをしぼった後にできる搾り粕ですが、米麹、酵母や清酒成分などの栄養分が一杯含まれた栄養価の高いものです。粕だといっても本当にあなどれないパワーがあります。酒粕には冬、酒をしぼったときに出る「板粕」とそれをタンクに入れて足で踏み込み、空気を押し出して密封して夏まで貯蔵する「踏み込み粕」とがあり、昔から「板粕」はそのまま焼いて食べたり、あま酒、粕汁などにして食べ、又、夏になってやわらかくなった「踏み込み粕」（夏粕）は奈良漬用やわさび漬などに用いられてきました。今日、甘酒は寒い冬に飲むことが多く、冬場の飲み物と思っている人が多いのですが、江戸時代には真夏に飲まれていました。食べて…大腸がん予防・疲労回復・夏バテ予防・食中毒予防、ヨーグルトと混ぜると免疫活性物質が増えて腸や、肝機能を高めます。



塗って…乾燥肌・ニキビ・シミ・そばかす・肌荒れ・しわに効果があるようです。私は、肌が疲れているなと感じた時に、酒粕パックをします。私の酒粕パックのレシピは、酒粕15g位・酒粕と同量のミネラルウォーター・はちみつ5gをよく混ぜ合わせて顔に塗り、15分放置して洗い流すと顔色が一段明るくなりツヤツヤになります。

入って…乾燥肌・アトピー・冷え性・美肌、酒粕のお風呂は肌の汚れを落とし雑菌が繁殖するのを防ぐばかりか水分を一定に保つ保湿効果もあります。又、毛穴を広げて、皮膚の老廃物を取り除き皮脂などを毛穴に詰まるのを防ぎます。アトピー性皮膚炎の改善に必要な殺菌と保湿の2役を果たします。やわらかくした酒粕を手ぬぐいでくるみ中身が出ないように縛る。お湯の中で酒粕を揉みほぐすと白い酒粕が解けて出てくる。酒粕をくるんだ手ぬぐいはそのまま顔や体をこすると肌がいっそうすべすべに…。



## 中野の仲間 お店紹介

		★am pm	
★大成食品		中野通り	薬師あべロード
早稲田通			

大正6年創業

らーめん業界の老舗

大成食品株式会社（直営店：楽麦舎）

中華麺作りに魅せられて30年という鳥居社長は、大正6年に祖父が興した大成食品の3代目。中国人から祖父が学んだ伝統技術を守りつつ、最新テクノロジーを積極的に取り入れるチャレンジ精神も失うことなく、「不易流行」の姿勢で、これまでに製品化した麺は100種類以上になるそうです。内モンゴルの塩湖で採取、精製されたかんすいを使ったナチュラルかんすい手もみ麺は最近の自信作。日本テレビの人気番組「どっちの料理ショー」に究極の中華麺として登場するなど、マスコミでも話題の逸品です。熟成を活発化させるクラシック音楽を聴かせた麺なども続々完成。粉やかんすいの質、太さ、縮れ具合、なめらかさ、コシ、スープやトッピングとの調和…。調理人から寄せられるわがままなまでのこだわりを確実に製品化して、信頼を集め、現在得意先は都内を中心に600軒以上。行列ができる有名店も多数あるようです。平成9年より鳥居式らーめん「繁盛店経営塾」も開講し、人材づくりにも貢献。そして何より、多忙な中、地域活動にも熱心に取組まれ、中野地域の多くの経営者の兄貴的存在として慕われています。

1F（直営店）楽麦舎では、麺・スープ・具材の販売もしています。お試し下さい